

警戒警備の強化

重要施設の警戒

警察では、近年の厳しい国際テロ情勢等を踏まえ、原子力関連施設や首相官邸等の我が国の重要施設、米国関係施設、鉄道等の公共交通機関等の警戒警備を強化しています。



国会議事堂における警戒

水際対策

周囲を海に囲まれた我が国で、テロリスト等の入国を防ぐためには、国際空港・港湾において出入国審査、輸出入貨物の検査等の水際対策を的確に推進することが重要です。

政府は、内閣官房に空港・港湾水際危機管理チームを設置するとともに、国際空港・港湾に、**空港・港湾危機管理(担当)官**を置き、水際対策を強化しています。

警察は、テロリスト等の入国を阻止するための**事前旅客情報システム (APIS)**、**外国人個人識別情報認証システム (BICS)**に資する情報提供を行うなど、関係機関と連携して水際対策の強化を図っています。



不法侵入者への対処訓練

武力攻撃事態等への対処

武力攻撃事態等や緊急対処事態が発生した場合に備え、警察は、被災情報の収集、住民避難等の**国民保護措置**を迅速・的確に実施できるよう、内閣官房や各都道府県が主催する国民保護訓練に積極的に参加しています。

また、警察では、平素から防衛省・自衛隊と緊密な情報交換を行うとともに、武装作業員による不法行為等に対処できるよう、都道府県警察と自衛隊との間で、部隊の輸送や重要施設の警備に関する**共同訓練**を実施するなど、連携の強化に努めています。



自衛隊との共同訓練

国際会議の警備

■ 第 67 回国際通貨基金（IMF）・ 世界銀行年次総会

第 67 回国際通貨基金（IMF）・世界銀行年次総会は、平成 24 年 10 月 12 日に年次総会全体会合が東京都所在の「東京国際フォーラム」で開催されたほか、同月 9 日から 14 日までの間に、東京都内の各会場において 200 以上の関連会議、各種イベント等が、また、同月 9 日及び 10 日には、東日本大震災の被災地である宮城県仙台市内で防災と開発に関する仙台会合がそれぞれ開催され、国際通貨基金（IMF）及び世界銀行に加盟する 188 か国の財務大臣、中央銀行総裁、金融機関関係者等 1 万人以上が参加しました。

警察では、会議参加者の安全と行事の円滑な進行を確保し、テロ等違法行為の未然防止を図るため、開催地を管轄する警視庁、宮城県警察等において、主要施設に対する警戒警備、会場周辺での交通規制等を行い、警備に万全を期して開催国の治安責任を果たしました。



年次総会全体会合の様子



会場内の警戒状況

■ 原子力安全に関する福島閣僚会議

12 月 15 日から 17 日までの間、福島県郡山市所在の「ビッグパレットふくしま」で、福島第一原子力発電所事故から得られた知見・教訓等を国際社会と共有することを目的として、政府主催（国際原子力機関（IAEA）共催）による原子力安全に関する福島閣僚会議が開催されました。

この国際会議は、国際原子力機関（IAEA）に加盟する 114 か国及び関係国際機関等から閣僚を含む延べ約 1,700 人が出席しました。

警察では、会議参加者の安全と行事の円滑な進行を確保し、テロ等違法行為の未然防止を図るため、会場周辺における警戒警備を行ったほか、関連する原子力関連施設の警戒を強化し、警備に万全を期して開催国の治安責任を果たしました。



会場周辺における警戒状況